

# 生成AIは日本の英語教育を 変えるのか？

京都大学 国際高等教育院

金丸 敏幸

京都大学



KYOTO UNIVERSITY

第137回 超教育協会オンラインシンポジウム  
2023年9月29日(金) 12時～

# なぜ教育でChatGPTが問題に？

- ChatGPTは, これまでの評価に影響を与える可能性
  - **評価**の方法:「書く」行為の優位性
  - 言葉によって, **自らの考え**を, **適切な言語使用**で, **論理的に構成**して, 伝えられる能力が重要
- **能力評価 = 言語使用から判断**
  - 自らの考え → アイデアをChatGPTが提案
  - 適切な言語使用 → LLMに基づく自然な文章
  - 論理的な構成 → ChatGPTによる構成
  - いずれの面も(大半の)**学習者の能力を上回る**  
**= 公平, 公正な評価が困難(不可能)に**

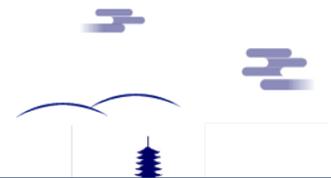


# 国(文部科学省)の対応

- 大学宛の**指針**を発出(2023年7月13日)

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2023/mext\\_01260.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_01260.html)

- 「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて(周知)」
  - 生成AIを利活用することが有効と想定される場面
    - 学生による**主体的な学び**の補助・支援:  
ブレインストーミング, 論点の洗い出し, 情報収集, **文章校正**,  
**翻訳**やプログラミングの補助等
  - 社会での活用を見越した生成AIへの理解と活用
    - 生成AIを**使いこなす**という観点:  
生成AIの**原理**への理解, プロンプト(質問・作業指示)の工夫と  
出力の検証, 生成AIの**技術的限界**の体験



# ChatGPTの実力

- (生成)言語能力について
  - 作文能力は(英語圏の)標準的な大学生並み  
英語能力は日本人大学生の最上位クラス相当
    - 英文レポートは本人の実力以上のものができる
    - 和文英訳だけでなく、要約や自分の意見を書かせるような課題にも十分対応可能
  - ただし、弱点も
    - 全体的な変更は可能だが、細かい調整は難しい
    - 入出力に限界があるので、長文への対応は困難
    - 出力結果が安定しない(一定でない)



# 英語教育の見直し

- これまでの教材や課題(予習・復習)に**工夫が必要**
  - 和訳・英訳 → **機械翻訳**
  - 教科書の問題 → ChatGPTで回答(と理由まで)
  - レポートや要約 → 意見や解決案の提案, 要約文の作成
  - **音声**については発展途上だが, 書き起こしも可能
- AIの活用で**学習効率**に大きな差が生じる可能性
  - **AI活用を前提**とした内容・活動 → 「**情報**」科目の必修化
  - 他の科目との連携 → **アカデミック・スキルズ**(レポートや調査)



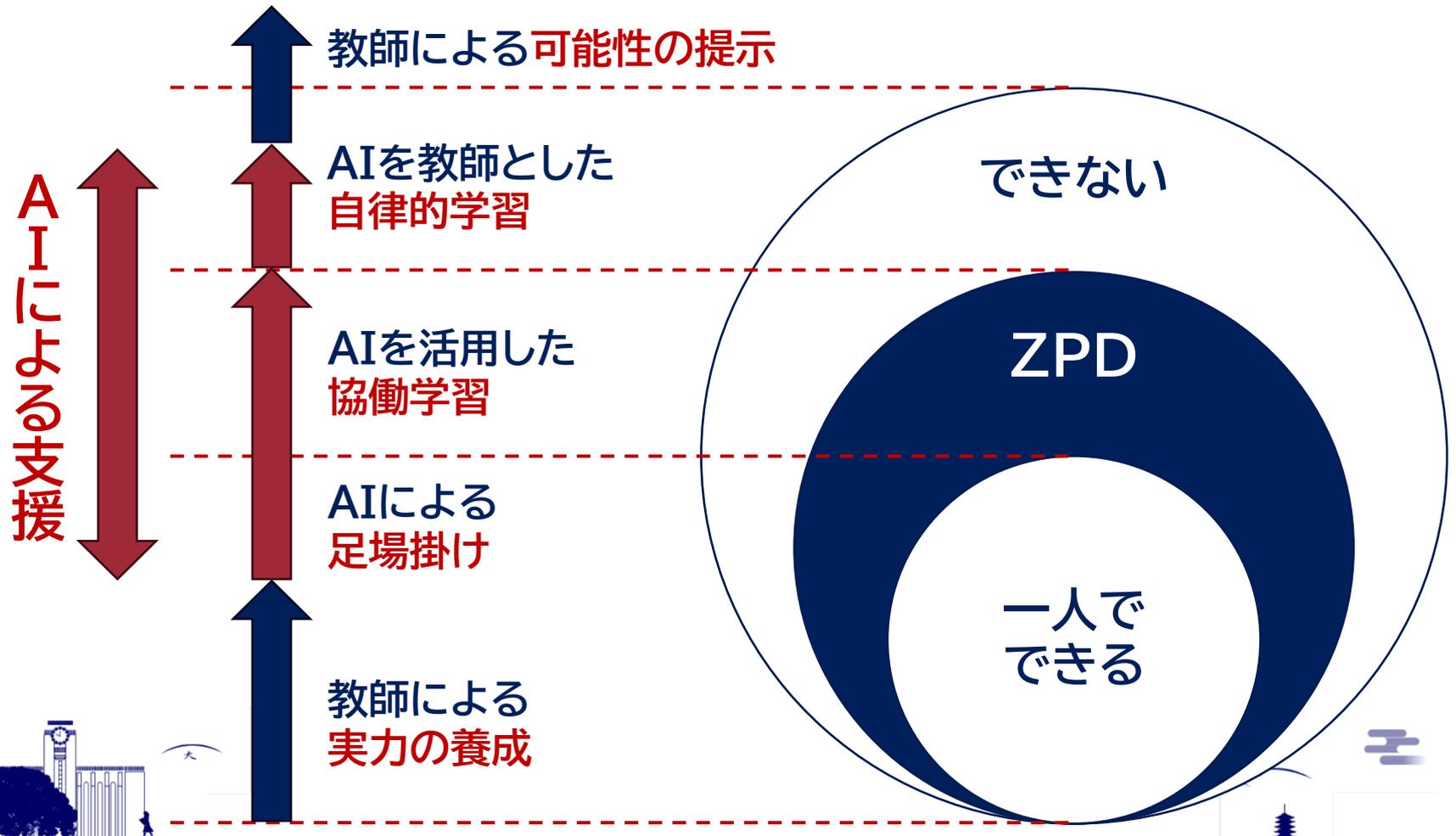
# AAALという考え方

(AI-Assisted Autonomous Learning)

- ZPD (Zone of Proximal Development)
  - 一人ではできないが、外部の助けがあればできる領域  
→ この領域での学習が効果的な成長・発達を促す
- 対話相手としてのAI活用
  - コミュニケーションストラテジーの育成
    - 表現を変えて、繰り返し尋ねることの重要性
    - 共通理解構築のための質問と応答
    - 相手から自分に不足していることを学ぶ積極的姿勢

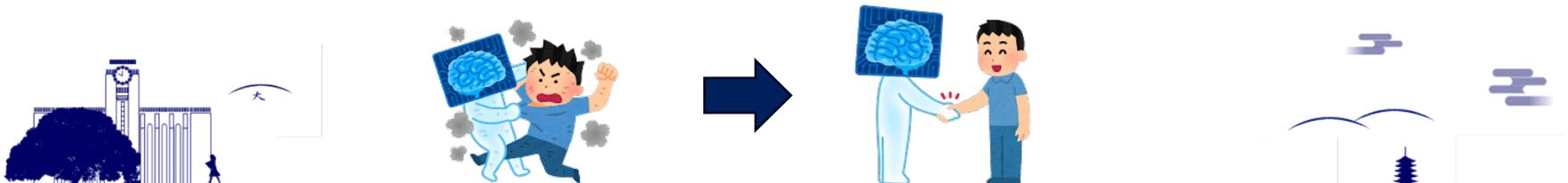


# ZPDに基づくAIとの共同教育



# 英語教育に求められるもの

- ChatGPTの登場で**英語教育は次の時代へ**
  - これまで通りの方法はもはや**通用しない**
  - 知識だけでなく**技能までも**AIの方が上
- 教師の役割を明確に：**ストラテジー指導**
  - 知識を教えるのではなく、**見方や学び方**を指摘する役割
  - AIのアウトプットから学生が**主体的に学ぶ**方法を指導
- AIと協働できる取り組みを：**AAAL & eFriend**
  - 基礎レベルでも**足場掛け**があれば、かなり高度なことまで
  - セルフフィードバックと対話による**止揚的思考力**の育成



# 社会人の英語学習への活用

- 学習目的の明確化: **教養 or 実用**

- 目的によってChatGPTの**役割が変わる** → 先生 or NES
- 使用する英語の**専門性** → 対人対面ほど一般英語
- 会話の**引き出しを作る**相手として活用

※プロンプトデータベースの活用(<https://langtest.jp/me-mo/>)

- 基礎と型が重要: **ジャンル思考**

- 英語の基礎基本(発想や語順)は**書籍での学習**が早い
- 語法やコロケーションなど, **用例**はいつでも引き出せる
- 思考の枠組と表現のパターンの関係に焦点(**ジャンル**)



# これからの英語教育・英語学習は

- 学生・生徒が**学ぶ価値を実感できる**教育を
  - 学生・生徒の**主体性を引き出し**, 教師は裏方に徹する
  - できないことが**試行錯誤**でできるようになる成功体験
- 改めて**英語教育の目的**について考える
  - 学生・生徒の**自己実現と持続的な成長**を可能にする教育
  - AIで学び, AIと学び, AIに学ぶ**自律的学習者**の育成
- 英語学習の**パートナー**としてのAI
  - 目的に合わせて24時間使える**生きた辞書**のような存在
  - 必要なパターンを見つけて応用する**ジャンル思考**

